

エマニエル夫人 (1974)

EMMANUELLE

メディア 映画
ジャンル エロティック ロマン스
製作国 フランス
色彩 Color
時間 91分
初公開日 1974/12/21
公開情報 ヘラルド
リバイバル 1977/10 [ヘラルド]

【キャッチコピー】

唇に愛の華咲きほころばせ… 昼さがりの光にさえ肌を許す 背徳のおまえーエマニエル

さらに脱いでー 成人版エマニエル 衝撃のカムバック！ (リバイバル時)

【解説】

外交官の夫からバンコクに招かれた若妻エマニエルが、その開放的な異国情緒にほだされて性の真理を探ろうとする様子を描き、本国フランスはもとより日本でも大ヒットを記録したソフトコア・ポルノ。ファッション写真家として著名なJ・ジャカンが監督し、ソフト・フォーカスを基調としたその美しい映像と、エマニエルに扮したS・クリステルの初々しい魅力で、多くの女性ファンも獲得したが、なんてこたない、こりゃ単なる“旅の恥はカキすて”っていう内容です。もっともらしい雰囲気や、哲学的な台詞でごまかしてはみても、要するにレディース・コミックの先駆的作品と観た方が判りやすいでしょう。’77年に「成人版」が公開され、今では“ヘア解禁版”や“無修正版”でも観れるけれど、面白い作品では決してありません。

【クレジット】

監督	ジュスト・ジャカン	Just Jaeckin	
製作	イヴ・ルッセール	Yves Rousset-Rouard	
原作	エマニエル・アルサン	Emmanuelle Arsan	
脚本	ジャン＝ルイ・リシャール	Jean-Louis Richard	
撮影	リシャール・スズキ	Richard Suzuki	
編集	クローディーヌ・ブーシェ	Claudine Bouché	
音楽	ピエール・バシュレ	Pierre Bachelet	
出演	シルヴィア・クリステル	Sylvia Kristel	エマニエル
	アラン・キューニ	Alain Cuny	マリオ
	クリスティーン・ボワッソン	Christine Boisson	マリアンジェ
	マリカ・グリーン	Marika Green	ビー
	ダニエル・サーキ	Daniel Sarky	ジャン
	ジャンヌ・コルタン	Jeanne Colletin	アリアンヌ